

常磐文藝

旅稼ぎに行く人 青の夢生
薄暗いステーションの待合室の隅つこの腰掛で少し許の旅の荷物を持つたはるゝ稼ぎにでも行く様な男女
女「北海道にはまだよつほど雪があつたべえねわー」
男「うんまだなかくあつちが寒かんべえ」
女「胎の子供が氣になるねえー」
男「身体を氣を付けろよなわー」
春の夜のステーションは極く静かだ
電燈はぼつねんと人氣の少ない
待合室にともつてゐる男女のコン／＼話をこつそりと聞てゐた自分は眞暗な氣持ちになつてしまつた

労働の光 (民謡) 飯村閑舟

(3) (腕車輓子)
時世遅れか
はびこる腕車
腕は微する
かへで色
光や光
夜も晝もよ
下婢の恵み
うごく筋肉
下婢ならぬ
光や光
乗る人輓く者
雲泥の差あれ
老軀暮れには
曙光あり
光や光
ふり廻せ雨雪
折衝に伏せて
積る心根を
うつく見せ
光や光

内科顧問
醫學博士 鈴木清藏先生
明廿日出張診療
平町 磐城病院
電話 一一四番

サクラビヤホール
洋食、辨當、壽司、清酒
麥酒を取揃ひて櫻と共に皆様をお待ちして居ます
廿日迄出張
第一公園表上三角塔下
カフエーヨシデン

錦流水琵琶教授
授教 毎日 (自前午八時 至午後八時)
(但し日曜日は休、日曜日は休、日曜日は休)
平町六十五番地

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
平町長橋町三五
川崎文庫
(申込次第規則書進呈)

マル柴田書店
電話 二二三十四番

品質の金庫は

本位 東京荒木製に限り
平 福島縣下代理店 高野得助商店
電話 三三六番
御申込次第カタク進呈仕候

眼科 平町紺屋町 吉田眼科醫院

万年筆は……コサツクに限る
理想の品質、低廉な価格は、他品の追従を許さず
コサツク萬年筆は、先年の具合に如く、軽快に耐力に富む
平高製 町倉 三萬 丁年 筆所

洋服は高島屋に限る

採用 外務員募集
月收壹百圓確實
經驗の有無ニカワラズ採用ス
地方在住ノ方ニテモ本店トノ連絡ガ取レマス
平町田町六十八
丸登株式店
電話 三三二二

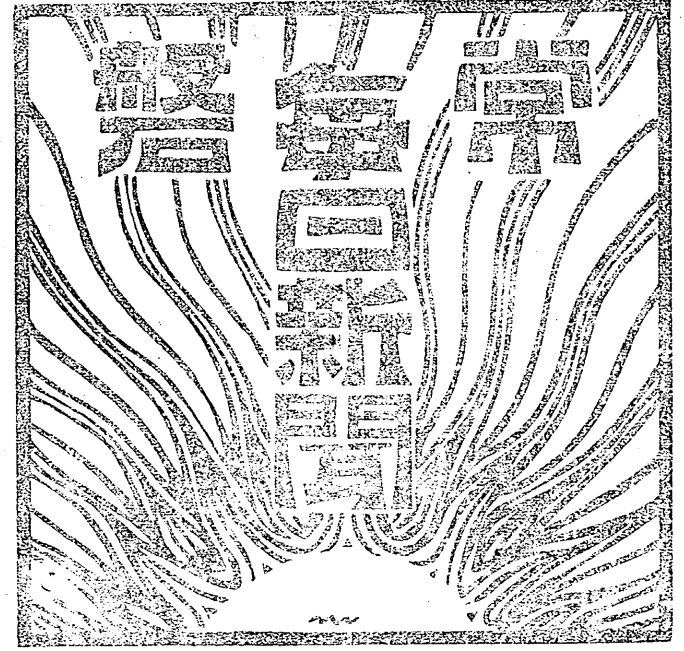
秀優群抜
千代田火ノシ!
富貴コテ!は
平町五丁目
釜屋商店
電話 一三九番

株買中値

左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候
銘柄 拂込 時價

磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐城銀行	一一五	一〇五
磐城銀行	三〇〇	二九五
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同 新	一五〇	一八八
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	二二五	一六〇
同 新	二二五	九八
同 新	五〇〇	三八五
同 新	二二五	一八〇
同 新	二二五	七三
同 新	二二五	一四五
同 新	二二五	一四〇
同 新	二二五	五五
同 新	二二五	六〇
同 新	二二五	三五〇
同 新	二二五	一三五
同 新	二二五	二八〇
同 新	二二五	二二〇
同 新	二二五	三五〇
同 新	二二五	一七〇
同 新	二二五	一一〇
同 新	二二五	四三〇
同 新	二二五	一九〇
同 新	二二五	六八〇
同 新	二二五	三七〇
同 新	二二五	八〇

東新株 先限 實物
前場後場共入電致居候
平町田町 電話 三三二番
丸登株式店
川添房二郎



刊夕日九十月四

發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地 發行所 常磐毎日新聞社

余の戀愛論

寄書
(一) 不攀大岳人
戀愛の無い人の一生はサハラ砂漠の様である、誰やらか云つた。人間から戀愛を引去る事が出来るか出来ぬかは論外として假りに取去つて了つたならば、人間は恐らく眼ばかりバチ付かす生きた屍となるであろう。昆虫動物さへも生の誇や輝が生殖期に現はれて單純な種子の分裂作用でなくなつて来る。禽獸さへも相手を選ぶに音聲羽毛の美を以てする處を見ると、彼等にも猶且本能的の情緒感情はあ

るらしい、況して人間は發育につれて、肉體美を増すと共に智能の働も盛んになり且又感情を鋭くする、所謂人生の花盛りなる青年期は人間の活動の最も旺盛な時代で自己を發揮し自己を輝かす事が文化に貢獻し、福祉を築く所以となるのである、夫故に人間の歴史から戀愛を取つて了つたなら歴史は決して解釋されないであらう、或は歴史は始めから作られなかつたかも知れない。見方に依つては戀愛は今日の文明を作り出した、原動力でもあるし又單なる一時的的精神作用でなくて寧ろ人間の永恒的

靈能である、然るに輓近の科學の進歩が精神界の總てを荒涼した中に就中、戀愛問題を性慾研究と優生學の兩方面より次第に蠶食されて近頃では殆ど道德的主義を失はんと居る

本郡の在米同胞を見殺しにするな

地方人の注意を喚起せよ

排日法案の前途はどうか？ 異境に泣く石城郡人を想へ!!!

玉なす汗から湧かして送金

排日法案は米國の上下兩院を通過した之れに依つて我國は米國から其面目をふみつけられ大なる侮辱を加へられた、地方人として此問題に黙過する事は出来ぬ、何故なれば本郡から現在米國に於て勞働に従事して居る渡航者が多いからである、平警察署が調査した昨年未現在の管内出身在米者は北米に男廿一人、女九人、計卅人、米領布哇に男六人、女五人合計十一人あり然も是等の同胞がぞれた

郷里に送金したか云ふに昨年六月から十二月迄の半ケ年間に約五千圓の金を送つて居る、是れは平署管内のみであるが此外植田、四倉兩警察署管内から米國へ行つて居る本郡人を合すれば優に百名以上に達し其人達が異境に於てあらゆる辛苦を舐め玉なす汗から湧かして

母國へ母國へと送た金も仲々巨額に及ぶ事であらう、然るに今回の排日法案に依つて是等の同胞は米國に於ける市民権をも持つ事が出来ず妻子も郷國から呼び寄せ能はざるが如き虞遇に泣かねばならぬ事になつたのである

外交上に起つた由々敷き難關として注意を怠る事が出来ぬと同時に本郡からの在米邦人が其運命を支配される一大問題であることすれば地方人として此問題の前途を等閑視すべきでない右に關し本日の東京新聞から排日問題を拾ひ讀みして居た水野郡長は

矢張り、同問題に對し深く是れを憂慮して左の如く語つた「排日法案は上下兩院を通過したとはいへ下院案と上院案とは移民制限に關するコーナーの基礎に相違點があつてまだ完全な一案となつた譯ではなく大統領領が最後の手段として否認權の行使を爲さうとする

意嚮であることへ傳へられて居るから此際我政府はもとより國民として輕率な態度があつてはならぬが、いはゆる米國の正義人道が果して吾人を首肯せしめ得る態度を以つて解決の衝に當るや否やは最も注目し價すべきであつて今後の成行に監視を怠つてはならないと思ふ」

法人事務協議 平稅務署管内法人事務研究會は明廿日午前十時から同署樓上に於て開會の筈

星氏應援

近く演說會を 東京市帝國教育會にては今

空廻りして進まぬ

小川郷驛にて二時間半遅る 重油が線路にこぼれ

平郡線江田小川郷驛間で十七日午後三時頃平發郡山行の貨物列車の機關車が五十里の傾しや線に差かゝると空轉をはじめ運轉不能となり小川郷驛に引返し約二時間半遅れて出發した原因は同列車の前の混合列車の機關車から重油が線路にこぼれたためである

前借を踏む 平町南町飲食店佐藤サツ方抱酌婦原籍京都府河鹿郡東八田村字

カテイラン

コーヒーの出

本紙に四丁目松本屋のコーヒーの廣告が出て居ります。がコーヒーをいしく頂きますには、まづコーヒー沸しき瓶に玉子の白味を一つ入れ、コップに半分ほど

散る花と共に 娘の溺死

夏井川に轉落

石城郡神谷村大字鎌田字小山下本田ミチ()は本日午前九時四十分頃新川の流

の水と玉子の殻を砕いたのと、コップ一杯のコーヒーをその中に入れてよく混ぜ合せ、その上から熱湯をコップ六杯ほど注ぎ込んで火にかけて二三回煮立つたところで、冷めた湯をコップに半分ほどさし(これはコーヒーを澄ませるためです)すぐ火からおろして埋火の上か、火鉢ならば火の側に

口なる夏井川沿岸にて農具を洗つて居た際亡り落ちて三百間下流に押流され溺死し夏井川沿岸に漂着せるを耕作中の農夫が発見大騒ぎとなつた

不平受付

新川端の破壊 長橋町裏通りが排水の工合悪く道路が破壊して水タマリになつて居る爲め先夜々櫻見物の際は新しい下駄を減茶々々によごしました急いで修繕を望む(困り生)

伏見助役の答 早速係りの者を出張調査せしめ修繕を急がせます

帝國館の盛況 昨夜は特に本紙讀者に限り入場無料を以つて厚遇した爲め頗る盛況を呈し花時の人氣を同館に宛めたの觀あつた

界マネキ 帝國館の盛況 昨夜は特に本紙讀者に限り入場無料を以つて厚遇した爲め頗る盛況を呈し花時の人氣を同館に宛めたの觀あつた

募集 文藝其他一般投票を募集します

内郷白水 三町餘陥没

地内田畑 關係地主の陳情

石城郡内郷村大字白水地内新川沿岸約三町歩に亘つて此程地盤が陥没したモの巢の如き龜裂は四方に走つて田畑の被害多く關係地主十名は苗代時に至るも手の下し様なき有様であるが是れは磐城炭礦の地底掘進作業の影響を蒙つたものとし數回會社側に交渉したけれ共

ノンキな町 村長

大會へ出席の 回答を寄せぬ

平町役場は縣下町村長會の開催當番地の關係上種々幹事の勞を執る事となり縣下各町村長に對する案内状も去る九日全部の發送を済した其數三百六十八通であるのに開催期日が明後日に迫

町村長會 宿舍割

平町の歡待

つた本日迄に出席有無の回答が半数にも満たず僅かに百五十二通に過ぎない是れが爲め平町では宿舍割や辯當の準備其他に種々の手違ひを來した模様で殆んど困つて居るが町村長ともあらう人達が一片の回答をも爲さないとは甚だ無責任である

美善 (集募書投)

神社を再建 石城郡上遠野村大字下岸根上園寺山頂の島下神社はその昔相當名高い神社であ

運動場協議

寄附金募集を

御成婚記念事業としてお堂を再建しあはせて境内の擴張を圖り有志の賛成を求め去る十三日遷宮式を舉行したが同所は石城郡を一日に見おろし風景絶雅の處で名所の一つになつてゐる

新株前場引値 (本社) 九一、五〇〇 先限 九二、六〇〇